

洋書輸入協会会報

VOL. 14

NO. 4

(通巻156号) 昭和55年4月

理事会報告

2月26日(火)

- (一) Groupe International Hachette が4月1日から同グループ所属出版社以外の書籍の輸出を停止するとの情報があったが、同社からの正式通知を待つこととなった。(その後3月7日付けで関係各社へ通知が送られてきた。)
- (2) 昨年の輸入通関統計の概要について相良廣明氏から説明があった。詳細は「会報」3月号に発表された。
- (三) 「会報」掲載の広告について、理事各社の協力が要請された。

(四) その他。

3月10日(月)

- (一) 2月分収支計算・予算対比表の検討。総務委員会の報告が承認された。
- (二) 総務委員会から、55年度予算編成にともなう会費の値上げ案が報告されたが、さらに総務委員会で案をねり、予算案とともに3月26日の理事会で検討することとなった。
- (三) 各委員会に対して予算要求について意見が求められた。
- (四) その他。

文化厚生委員会だより

1) 麻雀大会

恒例の麻雀大会(第6回)は3月15日(土)神田アイウエオ会館で7卓を囲み開催された、半荘3回と回数は少なかったが日頃腕を磨き短期決戦に強い市川氏(BFJ)が2位大野氏(中央洋書)を僅少差でおさえ新チャンピオンの座を獲得された。

終了後賞品授与を兼ねたビアパーティに移り和やかに歓談、午後6時散会した。

文化厚生委員会の催しは会員相互の親睦に役立つので今後共大勢の参加を望みます。

2) ゴルフコンペ

ゴルフは相変らず人気を呼び毎回参加者が多く盛況を呈している。昨年来の円安差損の鬱憤をボールを強打する事によって晴らしている感がある。

お互に情報交換も出来、一日を屋外で楽しく過ごすのも時には必要な事ではなかろうか。

最近の72会ゴルフコンペの成績は下記の通りでした。

第21回 於伊豆スカイライン(54.9.23)

参加25名

優勝 伊藤 武(東販)グロス93ハンデ(24)ネット69

理事会報告..... 1	外国出版社紹介 No69..... 4	DIRECTORY 正誤表
文化厚生委員会だより..... 1	来日外人名簿..... 5	Collier-Macmillan..... 5
海外ニュース..... 2	通関統計..... 5	総代理店ご案内..... 5
本の本 No16..... 3	計 報..... 5	広告 USACO 6

同時に第11回より20回までの優勝者による72杯取切戦は久保利康(三善)グロス85ハンデ(9)ネット76に決定しました。

第22回 於相模野 C C (54.12.15) 参加20名

優勝 山川隆司(U S)グロス105ハンデ(32)ネット73
第23回 於中津川 C C (55.3.18) 参加21名

優勝 大野 俊(丸善)グロス84ハンデ(12)ネット72

村山(ゲーテ)記

海外ニュース

「Stechert Macmillan 社買収さる」

米国 Macmillan 社の系列会社で、国際的な書籍販売・雑誌予約代理業者として知られる Stechert Macmillan, Inc. は、F. A. Faxon 社に買い取られることになり、3月11日に両社の間で売却の契約書が調印された。

Stechert Macmillan 社は1972年に創立、ヨーロッパはじめ国際市場に積極的に進出して注目されていたが、最近ではドイツのシュトゥットガルトの支店を撤収するなど戦線縮小が報ぜられていた。

F. A. Faxon 社は1881年創立、米国内の図書館市場で雑誌予約代理業者として確固たる地位を築いている。とくに高度に機械化された事務処理は定評のあるところである。

今後は、Stechert Macmillan の顧客の勘定および諸記録はすべて Faxon 社の本社が引き継ぎ、雑誌予約、継続オーダーとも責任をもって処理すること。

いずれにしても、Stechert Macmillan の国際市場での豊富な経験が、Faxon の国内市場征覇の経験、高度な処理能力と結びつくわけで、今後が注目される。

(Publishers Weekly、3月28日号より)

「英国書籍の出版点数急増」

1980年1月から3月までの第一四半期の英国書籍の出

版点数は、計11,189点であった。これは、前年同期の9,760点と比較して14.6%の増加である。

もちろんこの数字をもって今年の英国出版界の趨勢をうらなうことができるわけでもなく、精密な分析もまだなされていない。ただこの増加の原因の一つは、国際為替市場でのポンド高、ドル安のため米国出版社の本が英国の支店や代理店を通じてかなり大量に流入しているためではないかと推測されている。

(The Bookseller、3月29日号より)

「ズールカンフ社米国へ進出」

西ドイツの Suhrkamp Verlag は、アメリカのボストンに Suhrkamp Publishers Boston, Inc. を設立し、アメリカの地に一步を記した。西ドイツの出版社ではすでに Springer, Birkhäuser, de Gruyter, Urban & Schwarzenberg, Verlag Chemie などがアメリカに進出しているが、これらはいずれも自然科学、医学を主体とした学術出版社であり、文学や哲学・思想書を主体としたいわゆる文芸出版社としては Suhrkamp 社がはじめてである。

なお、Suhrkamp Boston 社は当初はフランクフルトの本社の出版物の米国への供給および宣伝広告活動にのみもっぱら従事することだが、将来は独自の出版活動をも行う予定である。

(Börsenblatt、3月20日号より)

——紀伊國屋書店提供——

「風船爆弾」の洋書

Retaliation: Japanese Attacks and Allied Countermeasures on the Pacific Coast in World War II. By Bert Webber. 1976, Oregon State Univ. Press. 28 x 22 cm., 184pp. (\$14.50)

八木佐吉

太平洋戦争末期ごろにわが軍によって実施された、いわゆる風船爆弾についてのアメリカ側の纏った文献である。実はこれは、戦争物なので紹介をはばかっていたが、世界的に強靱さを喧伝されている手漉和紙を利用してのことなので、敢えて「書物ばなし」の仲間入りをさせていただくこととした。そのため、発行年は少しく遡っている。しかし、日本の文献は従来小冊物にとどまり、最近も同名の本が新刊されたが同様であった。アメリカ出版のこの大冊本を知る人は余りおられないと思う。実はこの紹介記事はある雑誌にすでに発表したか、余りに特異な本なのでここに訂正再録する。先ず、主書名の「竹筥返し」とは、開戦の翌昭和17年4月18日、正午すぎ頃、全く突然の本土空襲攻撃が、米軍のドウリットル中佐以下のB25、16機で行われて、東京その他の市民の肝を冷し、多数の死傷者を出したことに對する日本の報復のアメリカ本土攻撃という意味であろう。

さて、無人の紙製の風船気球が爆弾を積んで、日本本土から、アメリカ各地を襲ったなどという話は、一連の笑い話のようでもあり、夢多いロマンチックな物語りでもあろう。アニメーション化しても面白そうだななどともお考えになる向きもありそうにも思うが、これは、現実に行われた作戦なのである。実際に噂を耳にされた方、女子挺身隊員で紙の貼り合せに当たった方も、更には、この気球放球隊員も、まだ多く現存されていることでもありましようが、精しくは、誰にも判らなかったのが、その頃のご時勢でしょう。

一応の解説を加えよう。風船爆弾とは、生漉き和紙を何重にか、コンニャク糊で貼り合せ、大型の風船を気球作りにして、水素ガスで浮揚力を付け、動力を用いず、風力のみで航空させ、上下動・気圧調整は、砂袋等のバラストその他で調節し、船体に爆弾焼夷弾を

積んで、着地点や接触で爆発効果をあげる工夫をした無人兵器である。

楮（こうぞ）の白皮100パーセントの和紙の規格を統一して、手漉し、それをコンニャク糊で何枚かを縦横に貼り合せて気球状にする。これが他のどんな資材よりも、水素ガスの漏洩率が少ないことは、それまでに研究済みであつたらしい。重量も強度も実用に耐えるということも判っていた。北太平洋の上層のジェット気流は、冬季は偏西風が強く、風向きもほぼ一定で、風にのると3日位で北アメリカのどこかに着くらしいという、気象状態の研究も、大正末年以来、海洋気象台などで為されていた集積といわれている。昭和19年秋ごろ、敗戦の色濃くなって、いよいよ、無人の風船気球爆弾を飛ばして、アメリカに対する神経作戦を行うこととなつたらしい。日本の太平洋岸、数ヶ所から万を越す風船が放たれた。実際に早いのは3日位で、北アメリカの所々アラスカ、カナダ、オレゴン州、カリフォルニア州に落ちたのもあり、内陸遠く、ミシガン・テキサス州などにも達したのがあって、三百数十の風船爆弾が、実際の被害をアメリカに加え、昭和20年（終戦の年）の5月5日にはオレゴン州で6人の死者を出した記事も、この本にある。戦時中、効果が、判るのを恐れて、未発表にされていたアメリカ側の記録と、戦後、日本で十分に調査した事歴などを、纏めあげた、貴重な文献である。風船兵器の被害の最も多かったオレゴン州の州立大学の出版物であることも頷ずける。著者ウェッバは、もと米軍信号隊のカメラマン、今はジャーナリストであり、図書館司書とのこと。本書の見返しに太平洋の両岸の地図を入れ、風向きや、風船到着地点、爆発物発火地点等を標示していて興味深い。大型本180ページ、写真その他挿絵230個入り。

アルフォンス・ルデュック社

音 楽 出 版 社

パリ第1区のサントノレ通りに面したこの音楽出版社は代々一度も他の家系の手に経営が移ったことの無い2つの最も古い出版社の1つとして現在もフランス1の規模を持っている。(他の1つはアンリ・ルモワヌ社・創立1772年) アルフォンス・ルデュック社は1767年に当時の有名なヴァイオリン奏者、作曲家、指揮者そしてパリのコンセール・スピリチュエルの監督でもあったシモン・ルデュック(1748-1777)によって創設された。彼の管弦楽曲は当時名声を得たばかりでなく今日も演奏されている。活気に満ちあふれバランスのとれた様式が彼の作曲家としての資質と個性をよく表現している。

ピエール・ルデュック(1755-1816)はシモンの弟として、又生徒としてヴァイオリン奏者であったが、彼の生涯の大半は出版業務に費やされた。

オーギュスト・ルデュック(1825年没)はピエールの息子で伯父シモン・アンドレの財産とトレード・マークの金十字を1777年に受け継いだ。彼によって当時はじめてのパリジャンによる音楽出版会社としての地位と重要性を築きあげられた。彼はモーツァルト、ナルディーニ、ヴィオッティ、ハイドンのピアノ協奏曲へ長調(1787)、ハイドンの交響曲のスコアをコレクションとして出版した。また彼は当時のイタリア楽派の重要な作品も出版したが、その印刷技術の巧みさは当時類を見ないものであった。一方、作曲や対位法のための教本の重要なコレクションを集めるなど、これらの寄与は以後絶えることなく続けられている。

アルフォンス・ルデュック(1804-1868)はパリ・オペラ座の指揮者で、一方数多くの忘れ得ぬ軽音楽の作曲家でもあった。

アルフォンス・ルデュック(1844-1892)は音楽教

育全般に関する出版業務に重要な発展を遂げさせた。何ヵ国語かに大切な教本を翻訳し、それらは現在に至っても全ヨーロッパ、北とラテン・アメリカ、日本でも広く使用されている(アルバン、クローゼ、タファネル、アルテス、リムスキー・コルサコフetc.) 1887年に彼はパリにおいてロシア楽派のボロディン、リムスキー・コルサコフ、セザール・キューイetc.の作品を出版した。

アルフォンス・ルデュック(1878-1951)は教育目的の音楽出版をより増大させたと同時にジャック・イベール、ラシュロ・ライタ、オリヴィエ・メシアン、アンリ・トマジ等の友人であり、かつ彼らの作品の出版者であった。彼はボフスラフ・マルテヌー他の何人かの重要な作曲家達に注目した最初の人間でもあった。1922年より彼はフランス音楽出版協会の会長、名誉会長となった。

1951年以降は1928年より父アルフォンスに協力していたクロード及びジルベール・アルフォンス・ルデュック兄弟にその経営はゆだねられた。

アルフォンス・ルデュック社は現在もその歴史を継ぎ特に音楽学校等で使用される管楽器教本や練習曲を中心とした音楽教育全般にわたるコレクションを出版している。同時に現代フランスの若い作曲家、とりわけローマ大賞受賞者の作品を出版する一方、まれに可能性に応じドイツ、イギリス、ハンガリー、イタリア、ベルギー等の現代作曲家の器楽曲の出版も行なっている。これらの諸活動に対し各国の業界、大学、学会等から数10種の賞と名誉号が送られている。(ちなみに同社の日本総代理店はビュッフェ・クラボン株式会社である。)

(Y. H.)

来日外人名簿

- 2月中旬 Mr. Terrence D. Daniels, Chairman, President and Chief Executive Western Publishing Company Inc. Racine, Wisconsin.
- 3月上旬 Mr. Philip A. Jarvis, Vice President, European Operations, Western Publishing Company, Inc. London.
- " Mr. G. B. Richardson, Oxford U. P., Oxford
- " Mr. Robert Grose, President, Williams & Wilkins, Baltimore.
- 3月中旬 Mr. C. V. James, Director, Pergamon Inst. of England, Oxford.
- " Mr. Cohen, President, Oceana Pub., Dobbs Ferry
- " Mr. Leo Albert, Chairman, Printice Hall Int. Inc., Englewood Cliffs
- 3月下旬 Mr. Michael Gladishev, International Sales Manager, M. E. Sharpe Inc. Pub., N. Y.
- " Mr. Eady, Director, Crown Pub. New York
- " Mr. Donald Trayror, Vice-President, Feffer & Simons, New York
- " Mr. Peter H. Grothe, Marketing Manager, Springer-Verlag, Berlin
- " Dr. Dieter Onken, Representative of Intermed-Export-Import Foreign Trade Enterprise of the GDR
- " Mrs. Su Ong, Editor, Macmillan Press Ltd. London
- " Mr. M. Kevin Cassidy, Marketing Manager Professional Books Ltd., Oxon

通関統計

外国貿易概況（大蔵省関税局編、日本関税協会発行）
1979年11月号記載。

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

（単位100万円 \$1,000）

昭和54年11月 ￥2,539 1月以降累計 ￥30,404
" \$10,647 " \$143,158

（註）この統計は、CIF価格で10万円以下の少額貨物は含まない。

計 報

株式会社関西書店 取締役社長 井戸本 弘氏
かねて病氣療養中のところ3月25日逝去、27日
社葬をもって仏式により西光寺（住吉区）に於
て行われました。
茲に謹んで哀悼の意を表します。

正 誤 表

DIRECTORY 1980年版 4頁

コリヤー・マクミラン・インターナショナル

豊川TPビルは 富川TPビルに訂正お願い致します。

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。
お手許のAgent Listにご記入願います。

(株)ユー・エス・エシアテック・カンパニー

☎ 502-6471

American Association for Clinical Chemistry

定期刊行物 "Clinical Chemistry" 12回/年

年間予約購読価格¥19,200

書 籍 全出版物

Environment Information Center, Inc.

Energy Information Abstracts/Index

Environment Abstracts/Index

Environment Regulation Handbook

Energy Directory Update

Land Use Planning Abstracts

Energyline User's Manual

Enviroline User's Manual

Toxic Substances Sourcebook

Environment Film Review

Energy Information Locator

Williams & Wilkins

全雑誌（新規発行誌、バックナンバー、マイクロフ
ィルムを含む）



Williams & Wilkins

Williams & Wilkins社(以下W.Wという)は、創立90有余年、医学出版の分野では、世界のトップクラスにランクされる伝統ある出版社であります。

特に医学雑誌の発行にあたっては約40数種に及び、量、質においても他に比肩する出版社はありません。医薬図書館、あるいは研究室において広く利用されております。

W.W社は、二つの部門よりなり、医学書出版のW.W社そのものと、印刷会社としてのWaverly Press, Inc.の二つであり、後者では米国の数多くの学会や商業出版社より発行される専門書や雑誌のプリンターとして著名であります。このように、出版と印刷という二つの側面をもつ出版社は、他にありません。

此の度弊社は、次の雑誌(今後の新規発行雑誌含む)、マイクロフィルム及びバックナンバーの総代理店として業務を行うこととなりました。詳細はお問合わせ下さい。

Journals

- American Journal of Neuroradiology
- American Journal of Roentgenology
- American Journal of Optometry and Physiological Optics
- American Journal of Physical Medicine
- American Journal of Sports Medicine
- Behavioral Medicine Abstracts
- Critical Care Medicine
- Cytometry
- Journal of Developmental and Behavioral Pediatrics
- Drug Metabolism and Disposition
- Ear & Hearing
- Endocrine Reviews
- Endocrinology
- Foot and Ankle
- Gastrointestinal Endoscopy
- Investigative Urology
- Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism
- Journal of Criminal Law and Criminology
- Journal of Immunology
- Journal of Investigative Dermatology
- Journal of Nervous and Mental Disease
- Journal of Orthopaedic Sports and Physical Therapy
- Journal of Parenteral and Enteral Nutrition
- Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics
- Journal of Trauma
- Journal of Urology
- Laboratory Investigation
- A Journal of Pathology
- Medicine
- Neurosurgery
- Obstetrical and Gynecological Survey
- Orthopaedic Survey
- Pediatric Research
- Pharmacological Reviews
- Plastic and Reconstructive Surgery
- Soil Science
- Stain Technology
- Survey of Anesthesiology
- Transplantation
- Urological Survey

CME Series

- Contemporary Diagnostic Radiology
- Contemporary Electrocardiography
- Contemporary Neurosurgery
- Contemporary Ophthalmology
- Postgraduate Obstetrics and Gynecology

日本販売総代理店

SCIENCE & TECHNOLOGY INFORMATION SERVICE
USACO

株式会社ユー・エス・エシアテックカンパニー

■本 社 105 東京都港区新橋1丁目13番12号 堤ビル ☎ 東京(03)502-6471(代表)
■大 阪 ☎ (06)344-6624 ■名古屋 ☎ (052)931-2601 ■土 浦 ☎ (0298)23-1773

USACO は、世界の優れた科学技術情報を選択してお届けしています

昭和55年4月 通巻第156号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎ 371-5329